

LIBERAL&DEMOCRATIC

# 自由民主

発行所  
自由民主党本部  
郵便番号 100-8910  
東京都千代田区永田町1-11-23  
電話 東京 03(3581)6211(代表)  
定価 1部 108円(税込み)  
<毎週火曜日発行>



自由民主党ホームページ URL <http://www.jimin.jp/>

## 内科医の経験を生かし、 災害対策に力を尽くす 社会保障や

平成26年の総選挙で当選し、国会議員として2期目を迎えた新谷正義衆議院議員は医師の家系で育ち、医学部を卒業した後、経済学部を卒業し、地域医療や介護施設の運営に携わりました。小学生時代から政治家になることが夢でしたが、その夢を果たし、現在は党厚生関係団体委員長として、また衆院災害対策特別委員会理事として活躍中です。地域医療の内科医の経験を生かしながら、日本の社会保障制度と災害対策の改革を目指す新谷議員に話を聞きました。

### 衆議院議員

## 新谷 正義さん



—新谷先生は帝京大学医学部を卒業後、東大の経済学部に入學するという異色の学歴をお持ちですが、その理由は？

新谷正義衆議院議員 広島で生まれた私の家系には医者が多く、父や母、兄までもが医師で、亡くなりましたが叔父、祖父、祖母も医師でした。小学生の頃から政治に興味があり、子供心に将来は政治家になりたいと考えていました。必ずしも夢が叶うとは思ってはおりませんでした。医学部を卒業後は赤十字や地域の病院で内科医として勤務をし、病院を経営するにせよ、医療政策を学ぶにせよ、政治の事を深く理解するにせよ、いずれにしても経済の仕組みを理解しておかなければと考え、東京大学の経済学部に入學しました。東大を卒業後は、茨城県で病院長として、広く地域医療や老人介護施設の運営に携わりました。



「社会保障制度問題に全力を挙げて取り組む」と語る新谷正義議員

も大きなきっかけとなり、徐々に政治家になりたいという気持ち芽生えてきたのです。このように、地域医療の実践と政治への関心がミックスされた家庭環境が今日に至る私の原点だと思えます。

—現在、党厚生関係団体委員長を務めています。国会議員として2期目を迎えているかがですか。

新谷 そうですね。医療と介護、年金や保険など広く社会保障制度全般を俯瞰する中で、強い危機意識を持つようになり、今がラストチャンスではないかという思い



厚生労働委員会 一般質問



広島平和記念公園の原爆慰霊碑に向かう米国のバラク・オバマ大統領(手前左)と安倍晋三総理を見つめる新谷議員(平成28年5月27日、時事提供)

が強くなってきたため、これらの問題の解決に全力を挙げて取り組んでまいります。

党厚生関係団体委員会は国民の皆さまのご意見を広く伺い、その趣旨を政策に反映させていたため委員会で、私はその橋渡し役です。

以前より仕事量が格段に増え、責任も重くなってきましたが、私がお役に立てる部分も増えてきたと感じます。

—昨年「年金改革法案」をめぐって与野党の対立が続いていますが、この法案の重要性についてお話しください。

新谷 ご承知のとおり、今後の「少子高齢化」の人口動態は変えようがなく、2025年に団塊の世代が一齐に後期高齢者になる現実を止めることはできません。そのため、もしもこの法案が成立し

なければ、徐々に年金制度そのものが崩壊するような気がしてなりません。後世になって振り返れば、日本が今大きな転換点に立っていることは明らかではないでしょうか。もちろん単純に年金給付額を減らすのは暴論で、今後の高齢者医療や福祉政策のあり方を国民全体の目線で考えていかなければなりません。今後、どのような医療や介護が必要で、どこまで年金給付額を抑えるべきかなど、広く議論していく必要があると思います。

—財源問題も浮上する中で時間をかけた精緻な議論が必要ですね。

新谷 はい。安倍政権が推進している経済再生の流れが立ち行かなくなってもいけない

(2面へつづく)

# 日本をずっと豊かな国へ



「国民の未来につながる国づくりをしたい」と語る新谷議員

ただ、事後の対応が後手後手にならざるを得ませんでした。私はその実情を丹念に調査するとともに、今後起こりうる事態にどう対処すべきかを考えていくことがとても大切

（一面からつづく）  
いわけで、「成長と分配」の原則をうまくコントロールしないと日本はとんでもない国になってしまう。  
その点で野党の対応は非常に残念！の一言に尽きます。事実とは異なる「年金3割カット法案」等というレッテルを貼り、間違った概念を国民に拡散させるのではなく、未来の世代に責任を持ち、より持続可能なシステムで国民の生活を守る対策を是非提出してほしい。まずは私たちの提案をよく読んで理解した上で議論に参加してほしいと思います。

——話は変わりますが、昨年5月にオバマ大統領が広島を訪問し、全面的な核廃絶を訴えるとともに被爆者代表と抱擁する場面が感動を呼びました。新谷先生はあの場面にたそげですね。  
新谷 オバマ大統領の広島訪問に敬意を表すると同時に、歴史的な場面に立ち会えたことを非常に光栄に感じています。現実には「核の抑止力」をどう考えるかという問題もありますが、たとえ半歩でも核のない世界に向かって進んでいくことに意味があり、そのメッセージを国際平和都市広島から現職の米大統領が発信したことに意義がある。多くの関係者の努力に

よってそういう機運が生まれたことが大変良かったのではないのでしょうか。  
——昨年は広島カープが25年ぶりにセ・リーグ優勝の栄誉を手に入れました。宿願を叶えた地元は大いに沸きましたね。  
新谷 私自身とても興奮しましたし、ベテランの黒田博樹・新井貴浩両選手の奮闘が若手の活躍とうまく噛み合った優勝だと思います。今回の優勝を喜ぶ中で、改めてカープはまさに広島市民の球団であると同時に、多くの県民に愛されていることがよく分かりました。

——一方で、広島市は数年前に大きな豪雨災害に見舞われましたが、災害対策特別委員会理事という立場で現地を視察されましたか。  
新谷 はい、もちろんです。広島に限らず被災地の現状を把握するために、理事になる前から幾度も足を運んでいます。被災地はまだ復興の最中であり、復旧支援とともに防災・減災対策をどのように推し進めていくのかも大きな課題です。そのため、現地には足繁く通っていますが、わが国では6年前の東日本大震災以降、地震や台風、豪雨災害などが頻発し、「災害列島」という感があります。たとえば茨城県の常総市は大水害に見舞われ、市役所の1階が水没してしまっ

たため、事後の対応が後手後手にならざるを得ませんでした。私はその実情を丹念に調査するとともに、今後起こりうる事態にどう対処すべきかを考えていくことがとても大切

だと思っています。  
——青年局次長として「TEAM AM11」(チーム・イレブン)の活動も推進していると聞きました。現在どのような活動をしていますか。  
新谷 これは東日本大震災が発生した平成23年3月11日以降、被災地を中心に現地の生の声を聞き、実情に即した対策を考えようという趣旨で発足したチームで、今も地道な巡回活動を続けています。今後は防災・減災活動に加えて競争力のある産業をしっかりと育てていくことが重要で、現地の復興を日本経済の再生と結びつけることが一番の課題と考えています。

——政治家としての信念や Motto を聞かせてください。  
新谷 一言で言えば、「日本をずっと豊かな国へ」ということに尽きると思います。私が今取り組んでいる社会保障制度の改革や経済再生の目標もそのことに行き着くし、国が豊かであれば世界の平和や安全も保てません。その取り組みを通じて、すべての国民が誇りを持てる国であり続けること。それを実現するため少しでもお役に立ちたいというのが私の願いであり、Mottoです。

——大切にしている人生観は「二期一会」だとか。  
新谷 私はかつて医師として一人ひとりの患者さんと向かい合ってきましたが、その経験を通じ人生で一番大切なものは「時間」であり、今しかできないことをおろそかにせず一瞬をも大切に生きたいと考えています。

その意味で今後も政治家として未来につながる国民のため、国づくりのために「二期一会」の出会いを噛み締め、全力で取り組んでまいります。

その意味で今後も政治家として未来につながる国民のため、国づくりのために「二期一会」の出会いを噛み締め、全力で取り組んでまいります。

その意味で今後も政治家として未来につながる国民のため、国づくりのために「二期一会」の出会いを噛み締め、全力で取り組んでまいります。

その意味で今後も政治家として未来につながる国民のため、国づくりのために「二期一会」の出会いを噛み締め、全力で取り組んでまいります。

## 衆議院議員 新谷正義さんのフォトアルバム



岸田文雄外務大臣を地元の皆さまと表敬訪問



厚生労働委員 硫黄島視察



中国地区港湾協議会



広島 参議院選挙応援演説



災害医療船視察



広島豪雨災害追悼式(平成28年8月20日)

### プロフィール

昭和50年3月8日生まれ  
広島県世羅郡世羅町出身  
帝京大学医学部、東京大学経済学部卒業  
平成18~24年 病院長  
平成24年12月 衆議院議員総選挙にて初当選(北関東比例区)  
平成26年12月 衆議院議員総選挙にて2期目の当選(中国比例区)  
平成28年9月 自民党厚生関係団体委員長、衆院災害対策特別委員会理事に就任  
自由民主党広島県衆議院比例区第一支部長  
衆院厚生労働委員会、決算行政監視委員会に所属  
党青年局次長、報道局次長、厚生労働部会副部会長、内閣第一部会副部会長、憲法改正推進本部幹事なども務める

### 新谷正義事務所

国会事務所 〒100-8982  
千代田区永田町2-1-2  
衆議院第2議員会館805号室  
TEL 03-3508-7604  
FAX 03-3508-3984

広島事務所 〒730-0017  
広島市中区鉄砲町5-7  
広島借成ビル4F  
TEL 082-222-5411  
FAX 082-222-5412

ホームページ <https://www.shintani-m.jp/>

